

脊髄損傷患者の手術時期による治療経過への影響

1. 研究の対象

2019年1月-2025年12月に当院でMRIにより脊髄損傷もしくは非骨傷性脊髄損傷と診断され、入院治療を受けた方

2. 研究目的・方法

脊髄損傷に対する手術時期により神経学的予後が変わりうることは研究されていますが、脊髄損傷の手術時期によってICU滞在日数や入院期間、手術待機中に生じる合併症にどのように影響するか明らかになっていません。

本研究の目的は、脊髄損傷及び非骨傷性脊髄損傷患者の手術時期によるICU滞在日数や入院期間、手術待機中の合併症発症率の比較を行い、脊髄損傷及び非骨傷性脊髄損傷患者に対する手術時期の指標となることです。2026年3月31日までの予定で行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

この研究では患者様のカルテの診療情報を利用させていただきます。利用させて頂く情報は次のようなものです。識別情報（生年月日、性別、初診年月日）、既往歴、来院時所見（重症度、併存症）、治療内容（手術の有無、手術の時期）、手術待機中に発症した合併症など

4. 外部への試料・情報の提供

なし

5. 研究組織

地方独立行政法人 りんくう総合医療センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者/代表者

〒598-8577 大阪府泉佐野市りんくう往来北2-23

りんくう総合医療センター 救命診療科 森大樹

TEL:072-469-3111